

巡回指導の際にはお忙しい中、ご対応いただきありがとうございました。

令和1年度の巡回指導は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より行政からの指導もあり、2、3月の巡回指導が一部実施できなかったため、当初計画の全道260営業所から229営業所の巡回指導実施にとどまりました。令和2年度の巡回指導も引き続きよろしくお願いたします。なお、今年度実施した巡回指導結果等から留意していただきたい5項目をお知らせします。細部は、以下の留意事項をご確認ください。

- ① 乗務員台帳の記載漏れをなくす
- ② 乗務員に対する指導・監督を実施し、記録する
(一般的な指導及び監督、特定の運転者に対する特別な指導)
- ③ 点呼を適切に実施し、記録・保存する
- ④ 運送引受書は定められた事項を記載し、運賃・料金は標準適用方法に従い計算し、記載する (手数料等の記載を追加)
- ⑤ 運賃・料金の割戻しの審査対象について

貸切バス事業関係の法律・規則等は改正が相次いでいます。お仕事がお忙しいなかですが、安全・安心な運行を確保するために適宜ご対応をお願いいたします。

乗務員台帳の記載漏れをなくす

- 選任運転者の自社の車種別 (大・中・小型車) 運転経歴を記載する。
- 事故惹起・初任 (準初任) ・高齢者の特別な指導について記載する。

乗務員に対する指導・監督を実施し、記録する

一般的な指導及び監督

…乗務員教育記録簿などに実施状況【日時・場所・内容・実施者・指導を受けた乗務員】を記録。(3年間保存)

(対象) **すべての運転者**

(内容) 心構え、交通ルール、道路交通状況、旅客の扱い、車両適正に応じた安全な運転方法、健康管理、ドライブレコーダーの記録を活用するなど13項目について指導

(時期) 継続的、計画的、体系的に実施 (指導の実施→記録・保存が合わせて必要になります)



特定の運転者に対する特別な指導

…乗務員台帳に実施状況【日時・内容※】を記録。(※乗務員教育記録簿などを添付することもできます)

適性診断 (初任) の受診

(対象) 新たに雇い入れたすべての運転者

(内容) 日常の運転状況を把握し、事故の未然防止のための運転行動の留意点を指導・助言

(時期) 運転者として選任する前

初任運転者等に対する指導

(対象) 新たに雇い入れた者及び直近1年間に乗務していた車種区分より大型のバスに乗務する者

(内容) 交通ルールや車両特性等について座学10時間以上、運転実技20時間以上

(時期) 運転者として選任する前

適性診断 (特定) の受診

(対象) 死亡・重症事故を惹起した運転者/軽傷事故を惹起し、過去3年間に事故を惹起したことのある運転者

(内容) 事故状況を聴取し、事故要因となった運転特性 (・生活習慣・健康状態) を認識させ、再発防止 (・改善) を指導・助言

(時期) 事故後に再度乗務する前 (やむを得ない場合、乗務開始後1ヵ月以内)

事故惹起運転者に対する指導

(対象) 同上

(内容) 再発防止策等について座学10時間以上、運転実技20時間以上

(時期) 事故後に再度乗務する前

適性診断 (適齢) の受診

(対象) 65歳に達した日以後1年以内に1回75歳に達するまで3年以内ごとに1回75歳に達した日以後1年以内ごとに1回

(内容) 日常の運転状況を聴取し、加齢による身体機能の変化が運転行動に及ぼす影響と、それに適した適切な運転行動を助言・指導

高齢運転者に対する指導

(対象) 65歳以上

(内容) 適性診断 (適齢) の結果を踏まえ、加齢に伴う身体機能の変化の程度に応じた安全な運転方法等について指導

(時期) 適性診断 (適齢) 結果が判明した後1ヵ月以内

点呼を適切に実施し、記録・保存する

乗務前点呼

- ・安全・安心な運行を確保するために点呼を実施し、出庫前の運転者と車両の状態に問題がないかを確認し、確認した項目を記録・保存する。

乗務後点呼

- ・帰庫した運転者の状態と報告事項により、運行状況を確認し、記録・保存する。

★ 運転者の状態を把握するためには適切なコミュニケーション、報告しやすい環境作りを心掛けましょう。

また、点呼を「実施する」→「内容を記録・保存する」ことが合わせて求められます。記録・保存に漏れがないようお願いいたします。

運送引受書は定められた事項を記載し、(手数料等の記載が追加) 運賃・料金は標準適用方法に従い計算し、記載する

- 運輸局から例示された運送引受書の全ての項目を記載する。
 - ・ 交替運転者がいる時、22:00～5:00（点呼・点検時間を含む）に運行する場合は料金が発生するので料金の上下限金額の記載が必要になります。
- 出庫地点からの時間・距離が運賃・料金計算の対象です。
 - ・ 宿泊運送の場合、利用者のホテルと運転者のホテルが違う場合は、運転者のホテルまでの時間・距離が運賃・料金計算の対象です。
- 運賃・料金計算上の端数処理をする。(宿泊を伴う運送は合計後)
 - ・ 距離は10キロ未満は10キロ単位に切り上げる。
 - ・ 時間は30分未満は切り捨て、30分以上は時間単位に切り上げる。

運賃・料金の割戻しの審査対象について

- 原価計算要領※に基づき補正した原価計算書から割り出された安全確保経費の最低ラインを手数料等の支払いにより下回った場合、実質的な下限割れに該当し、運賃・料金の割戻し（道路運送法第10条違反）となります。
- 運賃・料金から手数料等の金額を差し引いた後の金額が下限額を下回る場合、運賃・料金の割戻し（道路運送法第10条違反）の審査対象となります。
- 令和2年度より巡回指導時に運賃・料金から手数料等の金額を差し引いた金額が下限額を下回る運行があった場合、運賃・料金の割戻しの審査対象となる事案であると国へ報告します。
- 必ずしも審査対象＝運賃・料金割戻しとなるわけではありませんので、自社の安全確保経費の把握をお願いいたします。

※ 「一般貸切旅客自動車運送事業者の運賃・料金の届出及び変更命令の処理要領について（平成11年12月13日自旅第129号）」別紙3一般貸切旅客自動車運送事業の原価計算要領について及び「一般貸切旅客自動車運送事業者の運賃・料金の変更命令を行うか否かについての審査要領及び変更命令を発動する基準の細目について（平成26年7月1日国自旅第70号）」